

会 議 概 要

会議の名称	令和6年度第2回社会教育委員会会議
開催日時	令和6年10月23日(水) 13時30分 開会 15時00分 閉会
開催場所	湧別町文化センターさざ波 多目的ホール
出席者名	深谷委員長、山本副委員長、梅田委員、平野委員、杉原委員 毛利委員、鈴木委員、工藤委員、今野委員、西倉委員、菅原委員 11名 教委～阿部教育長、西海谷課長、中島参事、藤本主幹、仁木主査、 鈴木主事、佐藤主事
欠席者名	渡辺委員、三橋委員、佐上委員
傍聴人の数	なし
会議の内容	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 教育長あいさつ 4. 議 事 報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について 5. その他 6. 委員長あいさつ・閉会
会議資料	令和6年度第2回社会教育委員会会議案
会議録	■ 有 (□全文筆記 ■要点筆記) □ 無
備考	

てん末書

1 日 時

令和6年10月23日(水) 13時30分～15時00分

2 会 場

湧別町文化センターさざ波 多目的ホール

3 会議及び用務

令和6年度第2回社会教育委員会議

4 出席者

社会教育委員～深谷委員長、山本副委員長、梅田、平野、杉原、毛利、

鈴木、工藤、今野、西倉、菅原 各委員11名

欠席～渡辺、三橋、佐上 各委員 3名

教委～阿部教育長、西海谷課長、中島参事、藤本主幹、仁木主査、

鈴木主事、佐藤主事

5 結果要旨

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 教育長あいさつ

4. 議 事

○報告第1号

令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

○その他

各種社会教育委員研修会・会議について

令和6年度社会教育事業及び関係団体等予定表

【質 疑】

(平野委員) : e-スポーツプログラミング体験について、マインクラフトを知らない委員が多いと思うので説明いただきたい。

(鈴木主事) : マインクラフトはキャラクターを操作し、ブロックを置いたりして建造物等を作成するゲームです。普段コントローラーで操作するのに対し、プログラムコードを入力してキャラクターの操作を行います。遊びながらプログラムの基礎を学ぶことができる事業となっています。

(平野委員) : ふるさと講座のチラシの写真は貴重であると思う。このような歴史的な資料等の寄贈に関して、もっと宣伝してもよいのではないか。

(中島館長) : チラシの時代の写真は道内においても大変貴重な資料であると思う。繁忙期に写真を撮るということ自体が珍しい時代である。このような貴重な資料は随時連絡をいただき、ご自宅に伺うなどの対応を行っている。基本的にはこちらから率先して寄贈してもらいよりも、寄贈したい方から連絡をしていただいた方がスムーズである。

(鈴木委員) : 図書館活動の特別展示にて実施していた「なりきりアイスクリームやさん」は、実際に子どもたちがアイスクリームやさんになりきり遊ぶことができる展示で、私の孫も実際に遊んでみて楽しかったと大変好評であった。また、ブックスタ

ートについて、孫が町外にも関わらず手作りのバッグをいただいた。すごく良い事業だと思います。

(中島館長)：図書館活動内のブックスタートについて、ルピナスの会が今年度で解散となり、手作りのカバンのプレゼントはなくなるが、ブックスタートは継続する。

(平野委員)：家庭教育の低下を感じている。家族内での親子との会話が
がないことや、共通の認識を得ていないなど、子どもとのギャップやコミュニケーションの不足を感じる。私が子供の頃の家庭と今の家庭での親との距離感とはまるで違う。私の家庭では子どもが既に家を離れているが、現在子育てをされている方で、家庭内での子どもとの距離感や関係性を聞きたい。

(西倉委員)：一緒の部屋（リビング等）で各々違うことをやっていることが多い。ただ、一緒のテレビ番組を見ながら会話をするなどコミュニケーションは取れています。

(平野委員)：家庭内での家庭教育の充実は、子ども会事業や他事業の参加の有無等にも関わってくると考えている。社会教育として健康子ども課（育児学級）との連携など、できることを検討する必要がある。

(西倉委員)：各事業の参加を考えたときに、参加しやすい場所のセッティングは重要と考える。現在、湧く湧く体験塾は、さざ波や

TOMなどで開催しているが、別の場所でも可能か。

(仁木主査)：全町的な事業のため、主要な地点としている。場所を変えたとしても、行きやすいかどうかは参加者によって変わってくる。

(深谷委員)：柔道大会の参加者で町内に宿泊する方はどれくらいいるのか。

(藤本主幹)：参加案内の時に宿泊場所もお知らせしているが、日帰りや近隣に宿泊する方が多い傾向である。

(深谷委員)：インバウンドの効果は。

(鈴木委員)：ニューハンバーはどこか？との外国人観光客が家に来られた時があった。あいにく、空きがなく宿泊できなかったようだ。

【その他】

- ・事務局より、今後の各研修会・会議と社会教育事業予定表（11月～1月）について参考にしてもらうよう今後の事業について説明を行った。

5. 閉 会 終了-15:00-

令和6年度 第2回社会教育委員会議案

と き 令和6年10月23日(水)
午後1時30分

ところ 文化センターさざ波 多目的ホール

〈会議日程〉

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 議 事

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

その他

- ・各種社会教育委員研修会・会議について
- ・令和6年度社会教育事業及び関係団体等予定表

6. 委員長あいさつ ・ 閉会

湧別町教育委員会

社会教育委員名簿

役 職	氏 名	住 所	出欠	備 考
委員長	深谷 聡	計呂地		
副委員長	山本 重幸	錦町		
	梅田 唯士	上湧別屯田市街地		
	平野 寿雄	上湧別屯田市街地		
	杉原 武純	旭		
	毛利 美紀子	中湧別北町		
	渡辺 香織	中湧別南町		
	鈴木 由美子	栄町		
	工藤 雄希峰	登栄床		
	三橋 裕介	中湧別南町		
	今野 博友	中湧別南町		
	西倉 めぐみ	栄町		
	菅原 恵介	中湧別東町		
	佐上 義朗	上湧別屯田市街地		

(教育委員会)

役 職	氏 名
教育長	阿部 勉
社会教育課長	西海谷 巧
社会教育課参事 <small>(図書館館長、ふるさと館JRY・郷土館館長)</small>	中島 一之
社会教育課主幹	藤本 祐司
ふるさと館JRY・郷土館主査	林 勇介
図書館主査(湧別図書館)	北村 公樹
社会教育G主査	仁木 宏紀
社会教育G主事	鈴木 健太
社会教育G主事	佐藤 凌也
図書館主事(中湧別図書館)	石垣 杏優

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
基盤整備	①生涯学習情報の収集・提供・相談体制の充実	年間 —	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「湧く湧く」の発行(毎月) ・遠軽地区情報紙「なな・なんと情報」の発行(2カ月に1回) (佐呂間町が当番町) ・町ホームページによる情報の体系的整理と提供 ・動画による事業記録を収集し活用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整備に努める。	「湧く湧く」 印刷製本費 1,584千円 「湧く湧く」 印刷製本費 745千円	○情報収集と提供 ・生涯学習情報誌「湧く湧く」の毎月発行 ・遠軽地区情報誌「なな・なんと情報」の偶数月発行。 ・町ホームページによる事業PR(4月~10月) まちな話題(4月~10月) ・動画により一部事業を記録保存し、活用法を模索している。 ○相談体制の充実 ・地域住民の学びと活動に関する相談に随時対応している。 ○インスタグラムによる事業周知(4月~10月)	10-1 10-3
	②指導者の発掘・養成・活用	年間 —	主体的な学習と地域貢献との好循環をすすめるため、様々な分野から指導者を発掘養成し、その活用を図る。	—		
	③団体活動の支援・育成	年間 —	団体リーダーの養成を図るとともに、団体活動が円滑に行われるよう支援を行う。	—		
	④生涯学習振興奨励事業	年間 —	グループ・サークル等が主体的に行う講演会や鑑賞会などの学習活動に対して助成を行う。(補助率75%、ただし極めて公益性が高い場合は100%)	3件 300千円 2件 42千円	6/22、23フラワーウォッチング・五鹿山の自然を知ろう(ゆうべつアウトドアクラブYU-PAL):37,000円 7/13(ハンドメイドで挑戦、レジンアクセサリーづくり):5,000円)	10-4
	⑤施設の整備・運営・連携	年間 —	公共施設再配置計画など上位計画との整合を図りながら、施設の計画的な補修や整備を行うとともに事業連携・施設間連携により学習効果の向上を図る。	別紙施設整備計画のとおり	別紙社会教育施設整備計画に記載するとおり	10-2 10-5
家庭教育	①家庭教育研修会	2月予定 文化センター TOM	家庭教育が困難な現状の共通理解と家庭教育の重要性を啓発するための研修会。講演後に参加者交流会を開催。健康こども課と連携し、ニーズの把握に努め定着を図る。PTA連合会に後援、家庭教育サポート企業に協賛依頼予定。開催場所や開催日時、方法について検討する。	講師謝礼 100千円 需用費8千円	2月上旬開催に向け講師と内容について協議中。小・中・義務教育学校の児童・生徒を持つ保護者を対象とし、地場産品を活用した調理実習と参加者相互の情報交流を行う。	1-1
	②健康こども課との事業協力	年間 —	健康こども課との打合せ会議を開催し、子育て支援センター、子育て世代包括支援センターとの協力体制の充実を図る。	—	テーマの内容に伴い託児の必要に応じて打合せ会議等を行う。	1-3 1-4
	③家庭教育相談	年間 相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての不安や悩みについて身近に相談する機会を提供するため、ホームページの充実を図る。	—	学校と教育AD間の連携により随時教育相談に対応している。	1-2
少年教育	①児童宿泊研修会	6/13(木) ~14(金) ネイバル北見	社会性を培う機会として、全小学校5年生合同で、体験活動を実施。担当教職員の事前打合せと反省会も行い、目的や役割分担の共通理解やノウハウの蓄積を図る。	参加費122千円 (4,000円×1/2×61人) 需用費15千円 バス借上料143千円 参加費110千円 (1人4,010円×1/2助成) 需用費4千円 バス借上料145千円	全小学校の5年生54名、教諭12名、教委1名が参加 各種体験活動を通して、社会性を培う機会を提供。 5/8、5/29担当者会議を開催。担当教諭の連携を密に、スムーズな運営に努めた。また次年度に活かすため7/23反省会議を実施。	2-1 2-4
	②子ども会の育成・援助	年間 —	青少年指導センターの活動支援とあわせ、単位子ども会や湧別地区サポート協議会のあり方について指導助言する。	補助金 170千円 補助金 170千円	子ども会員十育成者(保護者)合計646名(昨年638名)(子ども会安全会加入者数より) 青少年指導センター事務局を教育委員会で支援(関連事業に掲載)	2-2

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
少年	③第1回子ども会リーダー研修会	7/29(月) ~30(火) 五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導センター会計から支出	小学生22名参加、リーダークラブの中学生3名が企画・運営。青少年指導員3名が参加。集団での生活を通してリーダー養成の研修や縦のつながりができた。	2-1 2-2 2-3
	④第2回子ども会リーダー研修会	R7.3/8(土) ~9(日) 紋別市生涯学習センター				
	⑤百人一首教室	11月~1月 毎週土曜日 農村センター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導することで、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指す。また、指導者の育成を図り実行委員会の活性化を促す。大会は実行委と教委との共催。小1~大人まで対象。	報償費24千円 需用費57千円	9月17日に実行委員会開催、今後について指導員と確認を行った。練習予定日は上湧別農村環境改善センターにて毎月土曜日・13時から15時までとし、以下のとおり予定している。(全9回予定) 11月:9日、16日、23日、30日 12月:7日、14日、21日 1月:11日、18日	2-1 2-3
		⑥第53回新春交歓カルタ大会				
教育	⑦湧うゆう湧くわく体験塾	年間 (月1回程度)	小学校4~6年生を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。	報償費35千円 需用費20千円 手数料1千円	小学校・義務教育学校4~6年生33名 4/20 入塾式 28名 5/11 フェリッパフェア・ボランティア 26名 6/15 パークゴルフ体験 18名 7/6 川釣り・川遊び体験 21名 9/7 昆虫教室・昆虫クラブ 15名 10/12 昔の湧別/火打ち石で火おこし 25名 11/16 光の性質を学ぶ科学実験 名 12/14 森林クラブ 名 1/18 氷下釣り 名 2/8 スノーハイク「志撫子」 名 3/15 閉塾式 名 協力:湧別町観光協会、湧別パークゴルフ協会、ゆうべつアウトドアクラブYU-PAL、北見工業大学、NPO法人まるせっぴ昆虫同好会、網走西部森林管理署	2-1 2-2 2-4
		町内ほか				
	⑧湧別町・新篠津村友好都市青少年交流事業	8/7(水) ~9(金) 湧別町 (受入れ)	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。小学校5~6年およびリーダーとして中・高校生も参加。小学生は参加経費の半額、リーダーは全額町負担。	報償費90千円 需用費10千円 施設使用料140千円 報償費20千円 需用費10千円 施設使用料111千円	湧別町12名、新篠津村11名の小学生及び中高校生のボランティア3名が参加し、今年度は湧別町で実施。仲間づくりゲームなどを通して交流を深めることができた。	2-1 2-2 2-4
青年教育	①青年団体の育成・援助	年間 青年会館ほか	子どもを対象とした事業、屯田七夕まつりでの出店などを行っている湧別町青年団体協議会を支援し、将来の地域のリーダー育成を図る。	補助金160千円 補助金160千円	4/23総会を開催。会員数13名 5/18チューリップフェアイベント開催(14名) 8/4 屯田七夕まつりイベント参加(14名) 7/13チャリティサマーパーティー2024(3名)	3-1 3-2 3-3 3-4
	②令和7年20歳の集い	R7 1/12(日) 文化センターさざ波	20歳を迎えた若者を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。※現小学6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費530千円 需用費83千円	10月1日付け住民基本台帳情報を基に案内を送付。交流会は成人者を中心としたレクリエーションを実施予定。	3-1
成人教育	①第48回湧別町民大学	9月~11月 全5回 文化センターTOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンルの講師を招き、今日的課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。合併15周年記念として著名な講師を選定予定	運営費助成2,500千円 運営費助成2,500千円	■実行委員会議 6/4、7/31開催。 ■第1回 9/15 増田ユリヤ氏(91名) ■第2回 9/27 野口 伸氏(95名) ■第3回 10/18 石原 良純氏 ■第4回 10/31 内海久美子氏 ■第5回 11/13 川村 晴道氏・久恵氏	4-1 4-2 4-3 4-4

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
成人教育	②第14回 ふるさと講座	11/9(土) 13:30- ふるさと館 JRY	「人物から湧別の歴史を見る」町史などに記録されている人物の足跡を通して開拓創成期の湧別町の歴史を学ぶ 第1部「明治期の人物とその内容」 第2部「記録に見る湧別のあゆみ」 第3部「感想・意見交換」 講師：ふるさと館JRY 中島一之館長	講師謝礼 30千円		4-1 4-2 4-3 4-4
	③第12回 我がまち湧別町のお宝をたずねる旅	7/6(土) 9:00- 志撫子・計呂地	”湧網線の名残りをたずねサロマ湖の景観を楽しむ旅”として、湧網線の跡地やサロマ湖の自然を感じられるバスツアーを開催する。	講師謝礼30千円 借上料77千円 講師謝礼10千円 借上料80千円	湧網線の名残りである計呂地交通公園やSLなどを見学し、愛ランドYOUからサロマ湖の自然を感じ、新たな湧別町の魅力を発見することができた。 ■参加人数 54名 ■案内人 石渡輝道氏、嘉藤晃男氏	
	④PTA団体への援助	年間 -	各学校のPTAやその連合組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円 補助金 180千円	連合PTA事業運営費の補助を実施。	4-2 4-4
	⑤ボランティア団体との連携	年間 文化センター さざ波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	-		4-2 4-4
高齢者教育	①チューリップ生きがいがい大学の開設	年間 (月1回程度) 文化センター TOM・さざ波ほか	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費247千円 需用費36千円 印刷製本費83千円 借上料528千円 報償費10千円 借上料479千円	103名入級、8クラブ 4/24 開講式 67名 5/31 楽しく体を動かそう 44名 (大筋クラブとコラボ企画) 6/18 日帰り研修会「紋別市」 57名 7/18 日赤出前講座「救急対応」 38名 8/8 レコード鑑賞会 34名 9/2~3 宿泊研修 帯広市・十勝方面 28名 10/21 特殊詐欺の手口と対応 名 11/5 映画鑑賞 名 12/4 クラブ活動発表会 名 1/16 町内講師講演会 名 3/4 閉講式・お楽しみ交流会 文集「生きがいがい」第6号発行 名	
	②世代間交流事業・社会活動参加奨励	年間 学校ほか	学校からの求めに応じ、小中学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	-		5-1 5-2 5-3 5-4
	③アクティブシニア向け事業	年間 文化センター さざ波ほか	自分に興味があるジャンルについて3カ月単位で学ぶ「短期大学事業」などを実施し、アクティブシニアの新たな学習の機会を提供する。チューリップ生きがいがい大学クラブの方々にも講師として携わっていただき、生きがいがい大学の繋がりが強化を図る。	報償費480千円 報償費24千円	○短期大学事業 シニアリトミック(第1期~第2期) 学生10名 ○人材バンク事業 登録者2名	
	④高齢者向けスマートフォン教室	11/19(火) 20(水) (1日2講座) 文化センター さざ波ほか	高齢者のデジタル活用力向上のためスマートフォン教室を開催する。 ①アプリのインストール方法 ②安心・安全なインターネット(スマートフォン)の使用法	自治体負担なし 総務省「デジタル活用支援推進事業」	町内に住むおおむね60歳以上の方を対象とし、4会場に分けて実施予定。 11月19日(火) 午前の部 9時30分~11時30分 さざ波 午後の部 13時30分~15時30分 芭露地区 会館 11月20日(水) 午前の部 9時30分~11時30分 TOM 午後の部 13時30分~15時30分 農村センター	
社会教育委員	①社会教育委員研修	随時 管内 道	研修を通じて委員としての資質向上を図り、地域における社会教育活動の充実に資する。 北海道市町村社会教育委員長等研修会 札幌市 北海道社会教育研究大会(オホーツク大会)網走市 生涯学習実践活動交流セミナー 札幌市	社会教育委員 報酬109千円 費用弁償169千円 報酬25千円 費用弁償31千円	・5/8(水) 紋別市 オホーツク管内連絡協議会 (委員長、事務局1名出席) ・7/11(木)~12(金) 札幌市 北海道市町村社会教育委員長等研修会 ・11/1(金)~2(土) 網走市 北海道社会教育研究大会 (委員長、副委員長、事務局1名出席) ・2/27(木)~28(金) 札幌市 地域生涯学習実践活動交流セミナー	10-5

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
芸	①文化団体の育成援助	年間	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円	加盟団体24団体を擁し、湧別町文化連盟として活動。総合文化祭などの文化活動を展開する。令和6年度においては、展示部門を10/5、6で開催。芸能部門を10/27に開催。	6-2 6-4
		—		補助金 300千円		
術	②鑑賞機会提供団体の育成援助	年間	良いもの見よう聞こう会等の活動支援	補助金 10,000千円	①良いもの見よう聞こう会 2公演実施 ※11月に他1公演予定 ②その他実行委員会 0公演実施	6-1 6-2 6-4
		文化センターTOM・さざ波		補助金 5,013千円		
・	③幼児芸術鑑賞会	7/17(水) 10:00-	幼児対象 公演内容 小さな子のためのオペラと朗読会	公演料 500千円	ちいさなひとのためのオペラ～accie「銀河鉄道の夜」 ■日時：7/17 10:00～ ■場所：文化センターさざ波多目的ホール ■観覧者数：児童 122名 保育士16名 一般観覧者11名 合計149名	
		文化センターさざ波		公演料 495千円		
文	④児童芸術鑑賞会	9/3(火) 10:00-	小学生全学年対象 公演内容 劇団ボプラミュージカル「オズの魔法使い」	公演料 880千円	劇団ボプラミュージカル「オズの魔法使い」 ■日時：9/3 10:00～ ■場所：文化センターさざ波大ホール ■観覧者数：児童309名 教員53名 合計362名	
		文化センターさざ波		公演料 880千円		
化	⑤中学生芸術鑑賞会	6/6(木) 13:30-	中学生全学年対象 公演内容 神保彰ワンマンライブ	公演料 1,500千円	神保彰ワンマンオーケストラ ■日時：6/6 13:30～ ■場所：文化センターさざ波大ホール ■観覧者数：生徒132名 教員29名 一般入場者 46名 合計 207名	6-1
		文化センターさざ波		公演料 1,400千円		
活	⑥一般芸術鑑賞会	10/5(土) 19:00-	町民対象(1公演) 公演内容 三井住友海上文化財団「地域住民のためのコンサート」 「トルヴェール・カルテットwith小柳美奈子」	公演料0千円	湧別町合併15周年記念事業 「トルヴェール・カルテットwith小柳美奈子」 ■日時：10/5 19:00～ ■場所：湧別町文化センターさざ波大ホール ■売上枚数：一般222枚 高校生以下32枚 ■入場者数：一般217名 高校生以下30名 招待37名 合計284名	
		文化センターさざ波		公演料0円 (三井住友海上文化財団助成事業)		
動	⑦子どもアート体験事業「ダンスワークショップ」	12/21(土) 22(日)	振付師・ダンサーの北尾巨氏を講師に日常の中でのストーリーや、実際に見たり触れたりしている物を題材にダンスを創作し、身体表現の楽しさを体験する。 北海道文化財団との共催事業	—		
		文化センターさざ波				
の	⑧文化芸術作品等の奨励	年間	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—	(1)文化センターさざ波ギャラリー展示 ①5/30～6/10 菅野泰子「紙ねんど展」215名 (2)文化センターTOMギャラリー展示 常設展示～写真、俳句、友好都市交流	6-2 6-3 6-4
		文化センターTOM・さざ波				
振	⑨カルチャー教室	年間	子どもから大人までを対象に趣味や一般教養など町民のニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 135千円	(1)子ども木工教室 8/2(金)老人憩いの家木工室 小学生19名参加 (2)e-スポーツ・プログラミング体験 「MINECRAFT」 11/24(日)文化センターTOM 小学生 名 中学生 名	6-1
		町内施設		講師謝礼 10千円		

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額	実績(状況)等	中期計画 推進項目
				実績額 (事業終了分のみ)		
大会 の 開 催 等	①第39回 サロマ湖 100kmウルトラマ ラソン	6/30(日) 湧別総合体 育館裏	100kmスタート午前5時00分 (100kmの部) 総合体育館裏(東道路上)	負担金 3,000千円	100kmの部 出走者数3,026名 完走者1,780名 完走率 58.8% 50kmの部 出走者数 475名 完走者 382名 完走率 80.4%	9-1 9-2 9-3 9-4
	②湧別町少年 柔道大会 「上野カッ プ2024」	10/12(土) ~13(日) 湧別総合体 育館	本町のふるさと応援大使であり、 柔道オリンピックメダリストの上 野姉妹の冠を掲げた全道規模の 小・中学生の柔道大会を開催する ことにより、少年相互の親睦を深 め、町の活性化や交流人口の増加 を図る。 参加規模：道内外小・中学生400 名 大会には上野三姉妹のほか、三井 住友海上女子柔道部から混合団体 銀メダリストの高山莉加選手を特 別講師として招致する。	歳入総額 3,037千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,337千円 歳出総額 3,637千円	大会前日には、上野姉妹と混合団体銀メダリストの 高山莉加選手による、柔道教室を開催し、多くの柔 道少年団や道場、関係者が参加した。 10月12日 「柔道教室&合同稽古」 延180名 (内町内参加者5名) 10月13日 参加者34団体340名 (内町内参加者1名)	9-1 9-2 9-3 9-4
	③第48回 町民300歳 バレーボ ール大会	12/1(日) 湧別総合体 ・中湧総体	自治会対抗形式9人制バレーボ ール大会	消耗品35千円 食糧費33千円		
ス ポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会 事 業	①スポーツ 王国北海道 「スポーツ チャレンジ 教室」 「コーチ・ ペアレンツ 講習会」	7月~12月 予定 未定	世界第一線で活躍するアスリート 等によるスポーツ体験教室を開催 し、子どもたちに対しスポーツの 楽しさや魅力を伝え、スポーツに 対する興味関心や積極的な参加の 機運を高めるとともに、指導者や 保護者にスポーツの大切さを理解 してもらい、子どもがスポーツに 親しむ習慣が促進されることを目 的とする。(北海道との共催事 業) 講師：未定 対象：教 室 小・中学生 講習会 指導者・保護者	スポーツ推進委員 報酬32千円	過去に1度も開催していない市町村を優先すること とし、開催見送りのため中止	
	②夏の短期 水泳初級教 室	8/20(火) ~22(木) 湧別プール	正しい泳法を習得させるととも に、泳ぐことの楽しさを味わわ せ、水泳の普及拡大を図る。 講師：藤田千秋(トッカリ湧波会) 絹張洋史(教育委員会職員) 小橋百合香 (スポーツ推進委員) 対象：小学生	講師謝礼 24千円 講師謝礼 12千円	今年度の水泳教室は、「全く泳げない子」や「顔に 水をつけるのが怖い子」などの初級者を対象に実施 した。 初級者の中でも、参加者のレベルに合わせてグル ープ分けを行い、1年生~4年生までの24名が参加。 8/20~22：延べ64名	
	③ニュー スポーツde あそび	R7 1月~3月予 定 湧別総合体 育館	町内の成人層を対象にスポーツを 通じて健康や体力づくりを高める きっかけづくりと新しいスポーツ の普及や地域の活性化を図る。 指導者：スポーツ推進委員 対 象：町内に在住の方 内 容：ニュースポーツ	スポーツ推進委員 報酬32千円		
④ジュニア スケート教 室	R7 1/7(火) ~9(木) 芭露スケ ートリンク	初心者に対してスケートの楽しさ を味わわせるとともに、技法を習 得させる。 講師：久保拓也(芭露) 松本桃子(芭露) 藤本祐司(教育委員会職員) 対象：小学生	講師謝礼 24千円			

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
スポーツ 教室 ・ 講習 会 事業	⑤クロスカントリースキー教室	R7 1/26(日) 五鹿山スキー場	スキーの楽しさを味わせるとともに、初心者から上級者まで幅広い技法を習得させる。 指導者：スポーツ推進委員 対象：小学生～一般町民	講師謝礼 3千円 スポーツ推進委員 報酬3千円		9-1 9-2 9-3 9-4
	⑥運動・トレーニング指導	5月～3月 湧別総合体育館	エクササイズとトレーニング機器を使ったトレーニングを行い、町民の健康維持増進と体力の向上を図るとともに、運動の重要性を理解していただき、スポーツを継続してもらい、トレーニング室の利用者増加に繋げる。 ①エクササイズ ②トレーニング機器を使った指導など 講師：月2回は委託業者 月1回は教委職員 対象：一般町民	委託料 924千円 委託料 424千円	幅広い年齢層の参加があり、参加者に合わせたトレーニングを実施している。 4/25 7名 5/15 10名、5/22 15名、5/23 10名 6/11 8名、6/12 13名、6/19 12名 7/9 12名、7/10 12名、7/31 12名 8/7 12名、8/21 21名 9/4 15名、9/18 13名、9/19 12名、 9/27 15名 10/2 11名、10/10 9名	
	【新規】 ⑦湧別町・レバンカ北海道スポーツ推進事業	7/11(木) 12(金) 湧別総合体育館ほか	プロによるスポーツ教室を開催し、本町の子どもたちに対しスポーツの楽しさや魅力を伝え、スポーツに対する興味関心を深める。また、本町とレバンカ北海道が包括連携協定を締結したことから、レバンカ北海道のサポートを受け、町の地域活性化にも繋げる。 予定事業 ①バスケットボール教室 ②町民トークショーなど ※湧別町合併15周年記念事業として実施	委託料 880千円 委託料 440千円	湧別町合併15周年記念事業として「湧別町×レバンカ北海道」バスケットボール教室&トークショーを実施。レバンカ北海道折茂社長、関野選手、アカデミーコーチ2名が来町し、町民と交流した。 ①ゆうべつ学園訪問 ■日 時 7月11日(木)11:30～14:30 ■対 象 ゆうべつ学園5.6年生 ②バスケットボール教室 ■日 時 7月11日(木)17:00～18:30 ■参加者 ミニバス少年団、中・高バス部60名 ■場 所 湧別総合体育館 ③トークショー ■日 時 7月12日(金)18:30～20:00 ■場 所 湧別町文化センターさざ波多目的ホール ■入場者 140名	
スポーツ 推進 委員 事業	①チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月 湧別総合体育館ほか	町内の小学1年生から3年生を対象に毎月1回、様々なスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさや学校を越えた仲間づくりの一助とする。※事業内容は変更になる場合有 5月 入学式・かけっこ教室 (上湧別百年記念公園広場) 6月 器械体操 (湧別総合体育館) 7月 キャンプ (湧別総合体育館裏) 9月 五鹿山マラソン (五鹿山スキー場) 10月 ドッジボール 初級編 (湧別総合体育館) 11月 ドッジボール 中級編 (湧別総合体育館) 12月 ミニサッカー (湧別総合体育館) 1月 スケート体験・氷上ホッケー (芭露スケートリンク) 2月 HIT THE BEAT (湧別総合体育館) 3月 ミニ運動会・卒業式 (湧別総合体育館) 指導者：スポーツ推進委員、各スポーツ団体指導者 対象：小学1年生～3年生	器械体操 20千円 かけっこ教室 15千円 HIT THE BEAT 15千円 スポーツ推進委員 報酬268千円 講師謝礼 かけっこ教室 15千円	スポーツ推進委員が中心となり、様々なスポーツを実施している。 5/18(土) 入学式・かけっこ教室 30名 6/22(土) 器械体操 27名 7/26(金)～27日(土) キャンプ 35名 9/8(日) 五鹿山マラソン 14名	9-1 9-2 9-3
	②巡回スポーツ指導	随時 町内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、軽スポーツやレクリエーションの指導を行う。	スポーツ推進委員 報酬13千円		

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
スポーツ推進委員事業	③スポーツ推進委員研修	随時 管内 道内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 興部町 オホーツク管内社会体育振興セミナー 興部町 北海道スポーツ推進委員研究協議会 増毛町	スポーツ進委員報酬122千円 費用弁償97千円 スポーツ推進委員報酬19千円 費用弁償45千円	10/13(日)~10/14(月) 増毛町 北海道スポーツ推進委員研究協議会 (スポーツ推進委員3名、事務局1名出席)	9-2
団体活動の育成援助等	①少年スポーツ団体の育成援助	年間 -	少年団本部への補助	補助金600千円 補助金600千円	湧別町スポーツ少年団本部への補助	9-2 9-4
	②一般スポーツ団体の育成援助	年間 -	体育協会への補助	補助金709千円 補助金685千円	湧別町体育協会への補助	
	③大会出場助成	年間 -	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。 (湧別町スポーツ・文化遠征費補助金)	補助金2,000千円 補助金1,774千円	9件(個人6件、団体3件)	9-2
	④合宿誘致助成	年間 各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 (湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金)	補助金2,104千円 補助金928千円	5件 別紙関連事業のとおり	9-1
施設の整備活用	①施設の整備	年間 各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
	②施設の活用	年間 各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償120千円 学校開放運営報償25千円	団体数：1団体 会場：ゆうべつ学園体育館(ゆうべつキッズ) 使用日数：25日間	
その他	①スポーツ安全保険の加入促進	随時 -	広報周知等インターネット(スポあんネット)にて加入する。	手数料1千円 手数料1千円	ホームページやかわらばん等において周知し、保険の加入促進を図った。	9-2
図書館活動	①図書館資料の収集、整理、保存	年間 両館	両館を特徴付けた選書を行い、それぞれに蔵書を区分し保存する。 ・資料等計画的に幅広く豊富に備え、適切な蔵書構成を維持する。 ・貴重資料のデジタル保存	資料費(図書、雑誌、新聞、視聴覚)8,000千円	<蔵書冊数> ・図書 R6 中湧別 78,408冊+湧別 70,525冊=148,933冊 (R5 中湧別 76,979冊+湧別 68,129冊=145,108冊) R6 中湧別 56誌 湧別 45誌 (R5 中湧別 57誌 湧別 47誌) ・新聞 R6 中湧別 8紙 湧別 5紙 (R5 中湧別 8紙 湧別 5紙) ・視聴覚資料 R6 中湧別 1,077点+湧別 1,740点=2,817点 (R5 中湧別 1,076点+湧別 1,739点=2,815点)	7-1

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
書	②利用促進、読書機会の提供	年間	調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。		<来館者数> R6 中湧別 5,047人+湧別 2,714人=7,761人 (R5 中湧別 5,339人+湧別 2,480人=7,819人 前年比較 中湧別 94.5%+湧別 109.4%= 99.3%) <貸出人数> R6 中湧別 2,931名+湧別 1,550名=4,481名 (R5 中湧別 3,265名+湧別 1,491名=4,756名 前年比較 中湧別89.8% 湧別104%=両館 94.2%) <貸出冊数> R6 中湧別 12,203冊+湧別 6,178冊=18,381冊 (R5 中湧別 13,624冊+湧別 6,299冊=19,923冊 前年比較 中湧別89.6% 湧別98% 両館92.3%)	7-2
			インターネットによる情報発信を行う。 ・デジタル資料の公開 ・事業のお知らせ ・司書によるおすすめ本の紹介(新着図書案内) ・図書館だより ・小学生向け広報の発行(年4回)		・ホームページの更新 ・図書館だよりの更新 ・新着図書案内の更新(月2回発行)	
		宅配貸出サービス(月2回) ・来館が困難な町民に対して個別に配送貸出を実施		・登録者(会員制/月2回宅配) R6 1名 (R5 2名) ・貸出実績(延べ数) R6 13名 75冊 (R5 11名 112冊)		
館		両館	マイナンバーカード連携 ・現行図書館システムの利用者番号とマイナンバーカードを連携することにより、マイナンバーカードでも図書等の貸出が可能となる。	委託料 1,290千円	・9月4日運用開始 ・登録者数 4名 ・貸出人数 8名 ・貸出冊数 34冊	
活	③ブックスタート	年間	ブックスタート(月1回) ・絵本2冊と手作りバックの提供 ・4ヶ月児対象 ・健診時に絵本とバックをメッセージと共に提供 ブックスタートプラス(年2回) ・絵本とブックガイドの提供 ・5~6歳児対象 ・就学時健診時に絵本1冊とブックガイドを提供	資料費(絵本) 142千円	<ブックスタート> ・実績(延べ数) R6 13名 (R5 25名) R6. 4月 なし R5. 4月 4名 5月 3名 5月 6名 6月 1名 6月 3名 7月 3名 7月 3名 8月 2名 8月 5名 9月 3名 9月 4名	7-2
		健診会場	・ルピナスの会(バック本体) ・湧別高校ボランティア部(名札)		<ブックスタートプラス> ・協力 内野静香氏(図書館協議会委員長) ・実績(延べ数) R6 42名 (R5 49名) 10/1 保健福祉センター 22名 10/9 上湧別コミュニティセンター 20名 (R5 10/3 保健 25名、10/11 上湧 24名)	
動	④絵本くらぶ	年間	絵本の宅配(月1回) 3歳までの乳幼児がいる家庭に おすすめ本セットを宅配(登録制)		<絵本くらぶ> ・登録者(会員制/月1回宅配) R6 17名 (R5 18名) ・貸出実績(延べ数) R6 93名 465冊 (R5 99名 495冊) R6. 4月 15名 75冊 R5. 4月 19名 95冊 5月 15名 75冊 5月 14名 70冊 6月 15名 75冊 6月 15名 75冊 7月 15名 75冊 7月 16名 80冊 8月 16名 80冊 8月 16名 80冊 9月 17名 85冊 9月 19名 95冊	7-3
		両館				

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
書	⑤移動図書館車の運行	年間	移動図書館車で町内を巡回し、広域サービスを実施する。機動性を活かし遠隔地域を中心に、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。児童、職員が乗り込んで借りる以外に、一部ステーションでは図書館職員が選本したセットを配本。 〈ステーション〉 ・認定こども園、保育所 3か所(年8回) ・児童センター 5か所(年8回又は年4回) ・子育て支援センター 1か所(年4回)		<ul style="list-style-type: none"> 乗車(延べ数) R6 377名 1,685冊 (R5 248名 1,644冊) 	7-3
		両館	<ul style="list-style-type: none"> 学校 8か所(年8回) 福祉施設 8か所(年4回) 地区施設 3か所(年4回) 郵便局 5か所(年4回) 	<ul style="list-style-type: none"> 配本(延べ数) R6 440名 5,340冊 (R5 161名 3,914冊) 		
	⑥学校図書館支援	年間	<ul style="list-style-type: none"> クラス配本 学校図書館用図書の購入支援 学校図書館レイアウト相談 学校図書館蔵書管理、蔵書計画 図書館見学の受入 職場体験の受入 読書オリエンテーション 家読おすすぬ絵本リスト作成配布 読書通帳の提供 		<ul style="list-style-type: none"> クラス配本(5月開始～毎月交換) 学校図書館用図書の購入支援(5月～7月購入支援) 学校図書館蔵書管理(購入・寄贈・除籍/随時管理) 図書館見学 5月 芭露学園1-2年生 19名 6月 中湧別小学校1年 20名 上湧別小学校1-2年生 16名 7月 中湧別小学校5年 17名 上湧別中学校3年 13名 ゆうべつ学園9年 9名 9月 ゆうべつ学園1-3-4年生 60名 職場体験 9月 中学生(4名) 10月 湧別高校(2名) 	
活	⑦古本コーナー	年間	古本、古雑誌のリサイクル活動。		<ul style="list-style-type: none"> 〈古本コーナー〉 中湧別 R6 622冊 (R5 625冊 前年比較 99.5%) 湧別 R6 1,307冊 (R5 588冊 前年比較 222.2%) 合計 R6 1,929冊 (R5 1,213冊 前年比較 159%) 	
		両館				
動	⑧特別展示	9月～10月 両館	町民大学講師著作展示		<ul style="list-style-type: none"> 町民大学講師著作展示 9月～11月 両館 	7-2
		年間 両館	テーマ：年中行事		<ul style="list-style-type: none"> 4月「こどもの日」「どうぶつボックス」「卒業・入学のえほん」「第14回幼稚園絵本大賞」「第1弾ロングセラー絵本(絵本ナビ)」 5月「こどもの日」「おふるにはいろう!」絵本 6月「フグログ月間ランキング」(5月分)「ばくばくパペットづくり!!」「歯、むし歯のえほん」「誕生50周年ねぶみくんのチョコキ展」 7月「フグログ月間ランキング」(6月分)「トンクをつかってボールはこび」ゲーム「岸田典大さんの絵本パフォーマンス絵本紹介」 8月「フグログ月間ランキング」(7月分)「シルエットカード」ゲーム「直木賞作家 河崎秋子さん著作本紹介」 9月「フグログ月間ランキング」(8月分)「どんなピザつくる?ピザづくりゲーム」「第15回幼稚園絵本大賞」 10月「ハロウィン」 	7-3

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
書	⑧特別展示	4月～5月 両館	子ども読書週間特別展示 ・「こどもの本総選挙」 湧別図書館 4月20日～5月28日 ・「なりきりアイスクリームやさん」 中湧別図書館 4月26日～5月28日		中湧別図書館 「なりきりアイスクリームやさん」 期間 4/26(金)～5/28(火) 湧別図書館 「こどもの本総選挙」 期間 4/20(土)～5/28(火) 「なりきりアイスクリームやさん」 期間 6/1(土)～9/1(日)	7-2 7-3
		10月～11月 両館	秋の読書週間特別展示		中湧別図書館 「秋まつり in 中湧別図書館 やっちゃんぞ！」 期間 10/11(金)～11/15(金) 湧別図書館 「『文芸エクラ大賞』紹介展示」 期間 10/19(土)～11/30(土)	
		9月～10月 中湧別図書館	絵本原画展「あてっこ どうぶつずかんだれ」(あべ弘士/作・絵)		中湧別図書館 絵本原画展「あてっこ どうぶつずかんだれ」 期間 9/24(火)～10/8(火)	
		7/17(水)～30(火) 年間	絵本原画展「北の里から平和の祈り ノーモア・ヒバクシャ会館物語」(北海道新聞社)		湧別図書館 絵本原画展「北の里から平和の祈り ノーモア・ヒバクシャ会館物語」 期間 7/17(水)～30(火)	7-2 7-3
		年間 両館	協力展示(展示スペースの貸出)	-	「教科書展示会」 主催 湧別町教育委員会 会場 中湧別図書館 期間 6/28(金)～7/10(水)	
		年間	ボランティア、サークル育成 ・読み聞かせ活動支援(りんごっこ、リーディング倶楽部たんぼぼ、湧別高校ボランティア部) ・ゆうべつ学園読み聞かせ(リーディング倶楽部たんぼぼ) ・中湧別図書館読み聞かせ(りんごっこ、湧別高校ボランティア部)		・リーディング倶楽部たんぼぼ 毎週水曜日 ゆうべつ学園 1～3年生 朝の読み聞かせ会 毎週水曜日 本の修理ボランティア 年6回(奇数月第2火曜日) 読み聞かせ会 ・りんごっこ 月2回土曜日 中湧別図書館「読み聞かせ会」 月1回 上湧別小学校「読み聞かせ会」 ・湧別高校ボランティア部 月2回土曜日 中湧別図書館「読み聞かせ会」 ブックスタートバック用「名札」制作 壁画制作(中湧別図書館おはなしコーナー設置) ・ルピナスの会 ブックスタートバック制作	
		年間 児童センター	児童センター事業支援 ・読み聞かせ会参加協力、読書推進事業の実施		・育児学級読み聞かせ(月1回) リーディング倶楽部たんぼぼ/協力	
動	⑨連携・ネットワーク	会議3回 研修1回 湧別図書館	図書館協議会 ・定例会議 ・委員視察研修(町内小学校図書館)		6/5 第1回図書館協議会会議 5名出席 7/30 視察研修 3名出席 ・津別町図書館	
		7月～9月 両館	・北海道教育委員会主催「本を読んでファイターズを応援しよう」キャンペーン参加		・「青少年のための200冊」等展示(両館) ・キャンペーン読書期間 7/26～8/20 ・参加者:27名(内訳:中湧別13名、湧別14名) ・読了者:名(内訳:中湧別 名、湧別名)	

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
文化財保護	①文化財の保護(1) 埋蔵文化財	年間 町内各所	<ul style="list-style-type: none"> ○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 <ul style="list-style-type: none"> ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・現状確認(遺跡パトロール) ・周知資料(台帳等)の整備 ◎シブノツナイ竪穴住居跡の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査:竪穴住居跡の年代、遺跡範囲等確認 <ul style="list-style-type: none"> *7月中旬~8月中旬予定 ・発掘調査概要報告書の刊行 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催 	委託料 (年代測定等) 610千円 印刷製本費 248千円 委託料 (年代測定等) 157千円	<ul style="list-style-type: none"> ○開発行為に伴う埋蔵文化財包蔵地の保護活動 <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財包蔵地の照会:9件 ・事前協議3件(過年度継続協議、他1件) ・所在調査3件 ・試掘調査3件 ・工事立会0件、慎重工事0件 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・現状確認作業(遺跡パトロール)随時実施 ・周知資料(台帳等)の内容確認と修正 ◎シブノツナイ竪穴住居群の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡の内容詳細を把握するための発掘調査7/11~8/10 ・令和6年度発掘調査概要報告書の刊行(3/20) ・自然科学分析 <ul style="list-style-type: none"> ①年代測定:竪穴住居跡の年代特定 ②微細物分析:食性等推定のための動植物等特定 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 第一回:7/19開催 第二回:2月下旬(予定) 委員3名、道教委1名、町教委2名 文化庁調査官現地指導:9/4~6 	8-1
	②文化財の保護(2) 自然関連	年間 町内各所	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続(死亡・はく製・調査) <ul style="list-style-type: none"> ・オジロワシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整 		<ul style="list-style-type: none"> ○(道指定)天然記念物 <ul style="list-style-type: none"> ・佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落 経過観察:9月実施 ○(国指定)天然記念物 <ul style="list-style-type: none"> ・オジロワシ ・タンチョウ 手続(死亡・はく製・調査):0件 	8-1
博物館活動	①博物館資料(1) 収集	年間 郷土館・ふるさと館 JRY	<ul style="list-style-type: none"> 【開拓関連資料】 ○資料寄贈への対応 【考古資料】 ○発掘調査に伴う出土資料の譲与申請 		<ul style="list-style-type: none"> ○博物館資料の寄贈受入 <ul style="list-style-type: none"> ・寄贈資料受入10件(湧別兵村誌付図ほか) ○文化財の認定と取得 <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の譲与申請:1件 令和5年度発掘調査出土資料 	8-2
	②博物館資料(2) 整理・保管	年間 郷土館・ふるさと館 JRY・収蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> ○考古資料 <ul style="list-style-type: none"> ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ・試掘調査等出土資料の整理 ○開拓関連資料 <ul style="list-style-type: none"> ・資料の保存環境整備 ○収蔵庫管理 <ul style="list-style-type: none"> ・文書資料の整理 ・資料外保管物の処分 ・資料移動(旧芭小体育館等) ○収蔵資料の特別利用許可に関する業務 		<ul style="list-style-type: none"> ○考古資料 <ul style="list-style-type: none"> ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ○開拓関連資料 <ul style="list-style-type: none"> ・保存環境の整備 ○収蔵庫の管理と保管資料の状況確認 <ul style="list-style-type: none"> ・JRY収蔵量増加 ○収蔵資料の特別利用許可 <ul style="list-style-type: none"> ・2件(ナウマンソウ臼歯化石ほか) 	
	③博物館資料(3) 展示	年間 郷土館・ふるさと館 JRY	<ul style="list-style-type: none"> ○郷土館 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展:発掘調査速報展(仮) ○ふるさと館JRY <ul style="list-style-type: none"> ・常設展示更新:解説パネルの追加と更新 ・収蔵展示室整備 		<ul style="list-style-type: none"> 【郷土館】 ○展示 <ul style="list-style-type: none"> ・「令和5年度発掘調査速報展」6/28~12/27 ○入館者数(9月30日時点) <ul style="list-style-type: none"> ・347名(大人328名、内町民40名、幼児~高校19名、内町民2名) 【ふるさと館JRY】 ○常設展示更新 ○入館者数(9月30日時点) <ul style="list-style-type: none"> ・2,161名(大人1,670名、内町民130名、小学~高校491名、内町民194名) 	8-2

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
博物館活動	④調査研究	年間	<p>【博物館資料(開拓期)の調査・関連事項の研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開拓期の衣食住 兵制度 冬季の生活 <p>【埋蔵文化財の保護と活用、博物館教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道史跡の守るべき範囲・価値の明確化 <ul style="list-style-type: none"> シブノツナイと他の竪穴群との比較研究 古環境復元、食性解明の自然科学分析 教材研究 <ul style="list-style-type: none"> 遺跡を活用した博物館教育の実践的研究 その他(大学等研究者との共同研究) <ul style="list-style-type: none"> 北海道大学考古学研究室の発掘調査支援(3年間程度) <ul style="list-style-type: none"> 対象遺跡:川西オホーツク遺跡 令和6年度は測量調査 		<p>【博物館資料(開拓期)の保存・活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保存 <ul style="list-style-type: none"> ◎屯田資料 <ul style="list-style-type: none"> 収蔵資料の保存に関する調査研究(害虫等) 資料清掃および注記 ○活用 <ul style="list-style-type: none"> 体験活動の系統化 開拓期の衣食住 冬季の生活 <p>【埋蔵文化財、博物館教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事例研究 <ul style="list-style-type: none"> シブノツナイと道内竪穴住居群の比較 ○科学分析 <ul style="list-style-type: none"> シブノツナイ周辺の古環境復元(微化石分析) <ul style="list-style-type: none"> 岡孝雄(北海道技術コンサル) 擦文文化の食性分析 <ul style="list-style-type: none"> 國木田大(北海道大学准教授) 土器圧痕の植物分析 <ul style="list-style-type: none"> 太田圭(東京大学助教) ○教材研究 <ul style="list-style-type: none"> 遺跡散策ガイドブック『遺跡のミカタ』の更新 シブノツナイ竪穴住居群案内パンフの試作 ○調査支援 <ul style="list-style-type: none"> 北海道大学考古学研究室の発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> 対象遺跡:川西オホーツク遺跡の調査 調査期間:8/12~16(3年計画の内、1年目) 	8-2
		年間	<p>【学校授業・研修会・講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開拓の歴史 <ul style="list-style-type: none"> (道具の変遷や機能の紹介) 労働体験(鋸・斧・鉋) 開拓期の衣体験 屯田生活体験館の活用 ○先史文化 <ul style="list-style-type: none"> (文化財である遺跡に触れ、親しむ機会の提供) <ul style="list-style-type: none"> 先史文化の工夫を学ぶモノづくり学習 <ul style="list-style-type: none"> (土器・勾玉) 遺跡に親しむフィールドワーク 発掘調査の現地説明会(主に学校を対象) <ul style="list-style-type: none"> 遺跡の知識を深める講座 遺跡調査報告会(11月予定) <ul style="list-style-type: none"> *調査成果に応じて実施を判断する 	講師謝礼 70千円	<p>【学校授業、研修会等の学習機会提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業及び展示解説実績(9月30日時点) <ul style="list-style-type: none"> ①ふるさと館JRY <ul style="list-style-type: none"> 28件470名(内学校:15件278名) ②郷土館 <ul style="list-style-type: none"> 2件26名(内学校:1件6名) ③出張講演 <ul style="list-style-type: none"> 15件257名(内学校:6件154名) ④施設利用 <ul style="list-style-type: none"> 2件90名 【講座等】 <ul style="list-style-type: none"> (講師依頼:林学芸員) ○北海道考古学会2024年度研究大会(札幌市) <ul style="list-style-type: none"> 「擦文文化期-窪みで残る竪穴群-」 6/1(土):約100名(主催) ○令和6年度遺跡調査報告会 <ul style="list-style-type: none"> 11/2(土):予定、定員50名 講師①北海道大学 教授 高瀬 克範 講師②ふるさと館JRY 学芸員 林 勇介 	8-3
博物館活動	⑤博物館教育(1) 学校授業・研修会・講座	年間	<p>【広報・情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○博物館だよりの発行(湧く湧く内、HP) ○郷土史に関する情報提供及び質問対応(レファレンス) 		<p>【広報・情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○博物館だよりの発行(湧く湧く内) <ul style="list-style-type: none"> 4~9月号(172号~177号) ○郷土史に関する質問対応 <ul style="list-style-type: none"> 屯田兵祖先調べ、町内の遺跡など 	
		年間				

中期計画推進項目の欄は、第3次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第1節 家庭教育	学習機会の提供	1-1
	活動等の支援	1-2
	学習環境づくり	1-3
	連携ネットワーク	1-4
第2節 少年教育	学習機会の提供	2-1
	活動等の支援	2-2
	学習環境づくり	2-3
	連携ネットワーク	2-4
⋮	⋮	⋮
第10節 生涯学習の基盤整備	学習推進体制整備	10-1
	施設整備・活用	10-2
	学習情報収集・相談	10-3
	指導者養成・団体	10-4
	連携ネットワーク	10-5

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について 関連事業（後援・連携事業）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	実績（状況）等	備考
青少年指導センター	子ども会フットベースボール交流会	7/7（日）	上湧別百年記念公園	地域子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、子ども会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。	参加人数に応じてチーム編成を行い、交流会として、地区対抗戦や地区混合戦を実施。参加人数19名。	
	子ども会リーダー駅伝大会	10/6（日）	上湧別百年記念公園		周回コースとして上湧別百年記念公園で実施。 参加者：16名 周回数：14周（7km）	
	子ども会ミニバレーボール大会	11/10（日）	中湧別総合体育館			
	子ども会リーダー研修会	(夏) 7/29（月）～30（火） (冬) 3/8（土）～9（日）	五鹿山公園 紋別生涯学習センター		社会教育事業 少年教育参照	社会教育事業 少年教育参照
中高生リーダーの養成	年間	町内	リーダー研修会の企画運営などを行う、中・高生リーダークラブと、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。	青少年指導員：3名 中学生リーダークラブ 「CAPTAIN★TEENS」：4名登録 高校生リーダークラブ 「Rainbow prop」：1名登録 第1回子ども会リーダー研修会に係る企画会議4回実施（5/11、5/25、6/23、7/28） 7/28～29第1回リーダー研修会		
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。 ①あいさつ運動 ②指導、補導 ③青少年だより発行 ④優良青少年表彰	①あいさつ運動②街頭補導③青少年だより発行④優良青少年表彰	補助金 400千円
文化連盟	総合文化祭	芸能の部 10/27(日) 展示の部 10/5(土) 6(日)	文化センターさざ波（芸能） 文化センターTOM（展示）	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。	芸能発表会 10/27(日)文化センターさざ波大ホール 展示作品展 10/5(土)・6(日) 文化センターTOM大ホール	
良いもの見よう聞こう会	芸術鑑賞会	7/19（金） 19：00～	文化センターさざ波	海援隊トーク&ライブ～君の住む町へ～	■日時 7/19(金)19:00開演 ■場所 文化センターさざ波 ■売上枚数 388枚 ■入場者数 386名	
		9/14（土） 15：00～	文化センターさざ波	立川志らく独演会	■日時 9/14(土)15:00開演 ■場所 文化センターさざ波 ■売上枚数 412枚 ■入場者数 408名	
		11/22（金） 19：00～	文化センターさざ波	三浦祐太郎アコースティックライブ		
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2024	9/8(日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	小学生（低学年）の部 20名 小学生（高学年）の部 3名 高校生の部 25名 一般の部 16名 団体の部（5チーム） 15名 合計 79名	教委、スポーツ推進委員も運営協力
スケート協会	第55回湧別町スケート大会	R7. 2/1(土)	芭露スケートリンク	1周300mシングルトラックタイムレース（男女混合学年別） 未就学児、小学生、中学生、一般、アトラクション（宝さがし）		

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について 関連事業（後援・連携事業）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	実績（状況）等	備考
実	ゆうべつチャレンジデー	10/8(火)~14(月)	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「ゆうべつチャレンジデー」を実施し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ■実施プログラム 54団体 2,456名 ■利用施設 16施設 3,061名 ■電話・電子報告 553名 計 6,070名	
	【新規】空道サマーキャンプ2024	6/15(土)~16(日)	湧別総合体育館アリーナ	北海道地区で空道競技に取り組む道場生達が一堂に会って集中的に練習に取り組むことにより団体としての団結・親睦を深める。競技団体トップレベルの講師によるセミナーを受講する事により、北海道地区道場生達の技術レベルアップと意識向上を目指す。	合宿人数27名 帯広空道協会ほか 小学生15名、中学生2名 一般9名、指導者1名	
	【新規】大田区合気道会	9/13(金)~16(月)	湧別町武道館	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。	合宿人数25名	
委	三井住友女子柔道部合宿	9/20(金)~22(日)	湧別町武道館	湧別町出身の上野雅恵監督が指導する三井住友女子柔道部が合宿を実施することにより、柔道の普及促進を行う。また、公開練習も行い、町民との交流を図る。	合宿人数15名	
	北柔会道場湧別合宿	9/20(金)~22(日)	湧別武道館		合宿人数11名 北柔会道場（当麻町） 選手8名、指導者2名	
員	北柔会関連道場湧別合宿	10/13(日)~14(月)	湧別総合体育館アリーナ	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。	合宿人数4団体38名 北柔会道場（当麻町） 選手8名、指導者5名 山下道場（名寄市） 選手3名、指導者2名 光柔会北見柔道スポーツ少年団 選手3名、指導者1名 稚内柔道スポーツ少年団 選手13名、指導者3名	
	第39回湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会	R7. 2/23(日)	遠軽町→湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km		
会						

報告第1号 令和6年度上半期社会教育事業の実施状況について
社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	実績額	備考
文化センターTOM	排煙窓修繕	1,700	1,683	
	外壁劣化調査委託	4,350	4,169	
	空調機改修工事	94,000	91,190	
文化センターさざ波	中央監視盤M I Tアドバンス本体更新修繕	1,020	1,012	
	照明L E D化工事	31,000	30,360	
湧別総合体育館 中湧別総合体育館	バレーボール支柱購入	610	550	各1組
湧別総合体育館	照明L E D化工事	14,100	13,618	
	体育館煙突灰取り出し修繕	1,100	1,100	
五鹿山スキー場	リフト折返滑車軸及びゴムライナー交換工事	7,320	7,510	当初 6,985千円 設計変更 7,510千円
ふるさと館JRY	温水暖房給水装置の修繕	561	451	
	エレベーター修繕	560	560	

その他 社会教育委員各種研修会・会議について

別冊2

令和6年度各種研修会等の予定について

研修会等	月日	会場	内容	人数
遠紋地区社会教育委員研修会	—	—	—	—
管内社会教育振興セミナー	—	—	—	—
北海道社会教育研究大会	11/1-2 金-土	網走市	全道の委員対象の研修会	2名
地域生涯学習活動実践交流セミナー	2/27-28 木-金	札幌市	全道の職員中心の研修会 講演、優良事例発表、分科会	1名
北海道市町村社会教育委員長等研修会	7/11-12 木-金	札幌市	各市町村委員長等対象の研修会	0名
家庭教育支援者養成研修	—	—	—	—

令和5年度実績			令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	備考
月日	会場	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	
10/15 日	湧別町	8名	1名	2名	2名	3名	5名	12名	5名	今年度湧別主管開催
11/23 日	遠軽町	3名	0名	2名	中止	4名	5名	3名	2名	令和9年度湧別主管開催
10/20 金	長沼町 オンライン	3名	4名	中止	中止	1名	3名	4名	2名	平成29年度は全国大会を兼ねた
2/21-22 水-木	札幌市	0名	1名	0名	中止	1名	1名	1名	2名	令和2、3年度はオンライン開催
7/13-14 木-金	札幌市	0名	0名	中止	中止	1名 委員長	2名 委員長 副委員長		2名 委員長 副委員長	
—	—	—	1名	—	—	—	—	—	—	

会 議	月日	会場	内容	出席
社会教育委員会（定例会）	4月、10月 12月、3月	町内	事業計画策定、事業評価など	全員
管内社会教育委員連絡協議会	5/8 水	紋別市	総会、実行委員会	1名 委員長

月日	会場	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	備考
5/10火 10/2月 12/22金 3/22金	さざ波	8名 10名 11名 11名	9名 9名 11名 9名	8名 12名 11名 12名 10名	10名 10名 8名 12名	6名 5名 8名 書面	11名 12名 13名 12名	12名 14名 13名 13名	9名 10名 9名 11名 11名	
4/22金	紋別市	0名	1名	書面協議	書面協議	1名	1名	1名	1名	

令和6年度社会教育事業及び関係団体等 計画表

※予定は変更になる場合があります

令和6年11月		令和6年12月		令和7年1月	
1	金 北海道社会教育研究大会(網走)	日	第49回町民300歳バレーボール大会(9:00-中湧別、湧別総合体育館)	水	
2	土 遺跡調査報告会(JRY)	月		木	
3	日 文化の日 功労者表彰式 中湧別小学校学芸会	火		金	
4	月 文化の日振替え休日	水	チューリップ生きがい大学「クラブ活動発表会」(10:00-12:00さざ波)	土	
5	火 生きがい大学映画観賞会(10:00-12:00さざ波)	木		日	
6	水	金		月	
7	木	土	チャレンジスポーツスクール⑦「ミニサッカー」(10:00湧別総合体育館) 百人一首教室⑤(13:00-15:00農村センター)	火	ジュニアスケート教室(13:30-芭露スケートリンク)
8	金 運動・トレーニング指導(10:00-11:30湧別総合体育館)	日		水	
9	土 ふるさと講座(13:30-16:00ふるさと館JRY) チャレンジスポーツスクール⑥ (ドッジボール10:00-11:30湧別総合体育館) 百人一首教室①(13:00-15:00農村センター)	月		木	
10	日 子ども会ミニバレー大会(9:00-中湧別総合体育館)	火		金	
11	月	水		土	百人一首教室⑧(13:00-15:00農村センター)
12	火	木		日	令和7年20歳の集い(14:00-さざ波)
13	水 町民大学「川村晴道、久恵」(19:00-TOM) 運動・トレーニング指導(10:00-11:30湧別総合体育館)	金		月	成人の日
14	木	土	湧ゆう湧くわく体験塾⑨「ネイチャークラフト」(10:00-TOM) 百人一首教室⑥(13:00-15:00農村センター)	火	
15	金	日		水	
16	土 百人一首教室②(13:00-15:00農村センター) みのり、湧別認定こども園お遊戯会(9:00-さざ波)	月		木	チューリップ生きがい大学「シブノツナイ堅穴住居後」(10:00-12:00さざ波)
17	日 富美小学校閉校式典(10:00-富美小学校)	火		金	
18	月	水		土	湧ゆう湧くわく体験塾⑩「氷下釣り」(9:00TOM出発) 百人一首教室⑨(13:00-15:00農村センター)
19	火 高齢者向けスマホ教室(9:30-さざ波) 高齢者向けスマホ教室(13:30-芭露地区会館)	木		日	第52回新春交歓カルタ大会(9:00-農村センター)
20	水 運動・トレーニング指導(10:00-11:30湧別総合体育館) 高齢者向けスマホ教室(9:30-TOM) 高齢者向けスマホ教室(13:30-農村センター)	金		月	
21	木	土	アート体験事業「ダンスワークショップ」 百人一首教室⑦(13:00-15:00農村センター)	火	
22	金 三浦祐太郎LIVE2024(19:00-さざ波)	日	アート体験事業「ダンスワークショップ」	水	
23	土 勤労感謝の日 湧ゆう湧くわく体験塾⑧「北見工大講演会」(10:00-さざ波) 百人一首教室③(13:00-15:00農村センター) 開盛小学校閉校式典(10:00-開盛小学校)	月		木	
24	日 プログラミング体験(①10:00-②11:30-③13:30-④15:00-TOM)	火		金	
25	月	水		土	チャレンジスポーツスクール「スケート体験・氷上ホッケー」(10:00芭露スケートリンク)
26	火	木		日	クロカンスキー教室(10:00-11:30五鹿山スキー場)
27	水	金		月	
28	木	土		火	
29	金	日		水	
30	土 百人一首教室④(13:00-15:00農村センター)	月		木	
31		火		金	